

お知らせ

●ホームページを開設しました。

仙台都市圏パーソントリップ調査のホームページを開設しました。このニュースレターで紹介しているほかにたくさんの情報がありますので、多くの方のアクセスをお待ちしています。

ホームページアドレス（宮城県）
<http://www.pref.miyagi.jp/tosikei/>
 ホームページアドレス（仙台市）
<http://www.city.sendai.jp/toshi/kotsukeikaku/>

●結果速報版が出来上がりました。

平成14年10月～11月に、仙台都市圏で約3万5千世帯・約9万人の方から回答をいただいた仙台都市圏パーソントリップ調査の交通実態調査結果速報版が出来上がりました。その要点をこのニュースレターでご紹介しています。またホームページからもダウンロードできます。

●データベースを準備中です。

交通実態調査結果のデータベースを公開する準備を進めています。準備が出来たらいち早くホームページやニュースレターでお知らせします。



●ご意見はこちら
 このままFAX022-211-3295へ e-mail/sendairpt@pref.miyagi.jp

■ご意見（ニュースレター「ひと・まち・交通」を読まれた感想や、パーソントリップ調査の結果についての感想をお寄せください。スペースが足りないときは別紙でFAXをお願い致します。）

お名前 性別 年齢 職業 電話番号

お名前 住所

仙台都市圏パーソントリップ調査は、20市町村を対象に、将来の総合的な都市交通計画を検討するものです。



計画策定の進め方

仙台都市圏総合都市交通協議会は、みなさんと共に計画の策定を進めています。

- 平成14年度 現在の交通状況を調べました。
- 平成15年度 交通問題を解消するためにどうすべきかを考えます。
- 平成16年度 仙台都市圏の総合的な都市交通計画をつくりまします。

問い合わせ先

●宮城県都市計画課 企画調査班 022-211-3134
 ●仙台市交通計画課 調査係 022-214-8302
 E-mailアドレス：sendai-pt@pref.miyagi.jp

100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

仙台都市圏総合都市交通協議会
 宮城県・仙台市

ひと・まち・交通

ニュースレターを創刊しました



●特集

- パーソントリップ調査の結果速報
- ・女性と高齢者のトリップ数が伸びる
 - ・世代別の移動パターンなどが分かる
 - ・自動車利用がさらに増える

●お知らせ

- ・ホームページを開設しました。
- ・結果速報版が出来上がりました。
- ・データベースを準備中です。



パーソントリップのホームページを開設しました。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス（宮城県）：<http://www.pref.miyagi.jp/tosikei/>
 ホームページアドレス（仙台市）：<http://www.city.sendai.jp/toshi/kotsukeikaku/>
 E-mailアドレス：sendai-pt@pref.miyagi.jp





このたび、仙台都市圏パーソントリップ調査ニュースレター「ひと・まち・交通」を創刊します。定期的にくらしと交通に関する情報、お知らせ等をお届けします。今回は平成14年に実施したパーソントリップ調査の交通実態調査結果（速報）が出ましたので、要点をお知らせします。これを契機に、みなさんと一緒に都市交通について考えていきたいと思いますので、ご意見をぜひお寄せください。

わたしたちのまちと交通。こんなに大きく変化しています。

パーソントリップ調査ってなに？

先生、パーソントリップ調査って何のこと？

<先生>
パーソンは人。トリップは移動のことだよ。どのような人が、どの時間帯に、どこからどこへ、何の目的で、どのような交通手段を利用して移動しているかを調べるんだ。

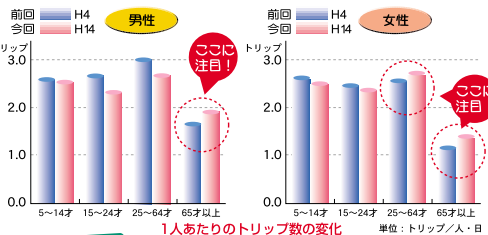
<女の子>
でも、何のためにそんなことを調べるの？

<先生>
それはね、仙台都市圏の将来の都市交通のあり方や、それを実現するための方法を決めるためだよ。

女性・高齢者のトリップ数が伸びたよ

<男の子>
ふーん、そうなんだ。それで何が分かったんてすか？

<先生>
前回と比較して大きな特長は、女性（25～64才）と男女の高齢者（65才以上）の1人あたりのトリップ数が伸びていることだろうね。

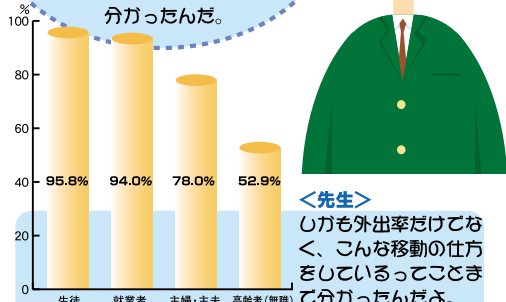


<先生>
女性の社会進出と高齢者の社会参加が進んでいる、と言えるかな。

移動パターンなども分かるんだ

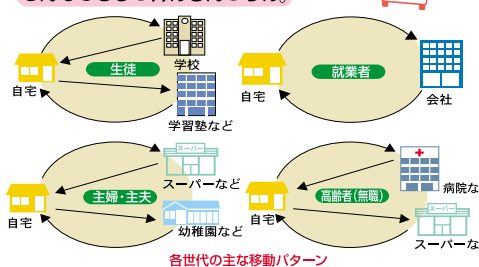
<男の子>
じゃあ、家族の外出の様子なんかも分かるんてすか？

ではグラフで説明しようか。君たちは毎日学校に行くだろう。だから生徒の外出率は高いよね。ほかにも就業者は9割以上、主婦・主夫は8割弱、高齢者（無職）は5割強が外出していることが分かったんだ。



<先生>
ほかにも外出率だけでなく、こんな移動の仕方をしてるってことまで分かったんだ。たとえば就業者は自宅と会社を往復するパターンが半数以上だが、主婦・主夫は短時間にスーパーや幼稚園などを何度も往復することが多いんだ。高齢者（無職）の場合は買い物のほか、病院などに通っている人も多いようだね。

<女の子>
そんなことまで分かるんてすか。

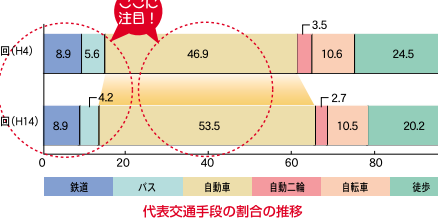


- 用語の説明**
- トリップとは：人がある目的をもって、ある地点からある地点へ移動する単位をトリップといいます。
 - 代表交通手段とは：1つのトリップでいくつかの交通手段を用いている場合、利用した主な交通手段が代表交通手段です。
 - 生徒とは：小学校、中学校、高校、高専のいずれかに通学している人です。
 - 就業者とは：65才未満で職業に従事している人です（通学を除く）。
 - 主婦・主夫とは：65才未満でもっぱら家事に従事している人です。
 - 高齢者（無職）とは：65才以上で職業に従事していない人です。

自動車利用がさらに増えたよ

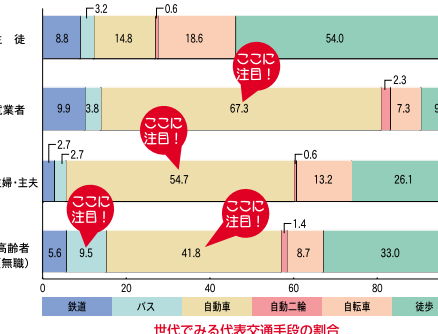
みんな、どこかに行くときは何を利用してらるんてすか？

<先生>
全体で見ると、自動車を利用する人が多いね。移動に自動車を利用する割合が前回よりさらに増えて半数を超えたこと、反対にバスの利用が減っていることも調査で分かったよ。



自動車を利用するのはどんな人が多いんてすか？

<先生>
一番多いのは就業者で7割弱が自動車を利用している。主婦・主夫は5割強、高齢者（無職）は4割強が利用しているよだね。一方、他の世代と比べてバス利用の割合が高いのは高齢者（無職）だよ。



<女の子>
みんな、どうして、自動車を利用するのガひら？

<男の子>
だって車は便利だもんね。

自動車と公共交通の関わり、みんなで考えていくことが大切だね

<女の子>
でも、渋滞することもあるてしよ。事故だってあるわ。

そうだね。自動車は便利だけど渋滞や事故の問題があるよね。それと排気ガスが環境に悪影響を及ぼしていることや、公共交通との関係も考えなくてははいけないう。

バスに乗る人が少なくなると、バスはなくなっちゃうの？

<先生>
そういう心配もあるね。

でも、バスや鉄道は必要てしよ。

<先生>
そうだね。運転免許を持たない人や、自動車を持たない人もたくさんいるからね。それに、免許があっても高齢になって運転しなくなった人もいるだろうしね。誰もが歳をとるのだから、そんなときの自分自身の問題として、公共交通のことを考える必要があるだろうね。

<女の子>
自動車と公共交通の両立って、難しい問題だね。どうしたらいいのガひら。

<先生>
とても難しい問題だね。一度に答えは出ないかも知れないけれど、みんなで考えていくことが大切じゃないかな。

そうか、みんなで考えていくことが大切なんてすね。

<男の子>
いろんなことが分かって、交通にとっても興味ガわいてきたな。

<女の子>
もっといろいろ知りたいときはどうしたらいいんてすか？

<先生>
ここで紹介した以外にもたくさんの情報があるので、もっと知りたいときはホームページを見てね。では次号で。